

5 キャッシュ・フロー計算書について

本市下水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	令和2年度	令和元年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	843,891	665,080	178,811
減価償却費	3,696,032	3,558,242	137,790
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,686	25,658	△ 5,972
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 652	△ 813	161
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 1,177	△ 1,563	386
長期前受金戻入額	△ 2,065,958	△ 1,815,809	△ 250,149
受取利息及び配当金	△ 8	△ 7	△ 1
支払利息及び企業債取扱諸費	827,207	889,565	△ 62,358
固定資産除却損	49,200	28,246	20,954
未収金の増減額(△は増加)	308,991	△ 309,084	618,075
未払金の増減額(△は減少)	145,365	△ 204,924	350,289
預り金の増減額(△は減少)	8,065	△ 7,970	16,035
小 計	3,830,642	2,826,621	1,004,021
利息及び配当金の受取額	8	7	1
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 827,206	△ 980,178	152,972
業務活動によるキャッシュ・フロー	3,003,444	1,846,450	1,156,994
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 6,558,556	△ 6,968,469	409,913
国庫補助金等による収入	2,190,090	2,082,364	107,726
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,368,466	△ 4,886,105	517,639
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
一時借入れによる収入	750,000	3,100,000	△ 2,350,000
一時借入金の返済による支出	△ 750,000	△ 3,100,000	2,350,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	561,700	1,093,900	△ 532,200
その他の企業債による収入	415,100	522,900	△ 107,800
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,095,255	△ 3,637,607	542,352
その他の企業債の償還による支出	△ 490,988	△ 608,315	117,327
企業債前借による収入	4,356,600	4,414,200	△ 57,600
他会計からの繰入による収入	446,901	444,088	2,813
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,194,058	2,229,166	△ 35,108
資金増加額 (又は減少額)	829,036	△ 810,489	1,639,525
資金期首残高	1,878,829	2,689,318	△ 810,489
資金期末残高	2,707,865	1,878,829	829,036

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュフロー（CF）で表される。

資金期末残高は、前年度に比べて8億2,903万6千円増加し、27億786万5千円となった。

投資活動のための資金が本来の業務活動による資金に対して不足するので、財務活動による資金で調達している形となっている。